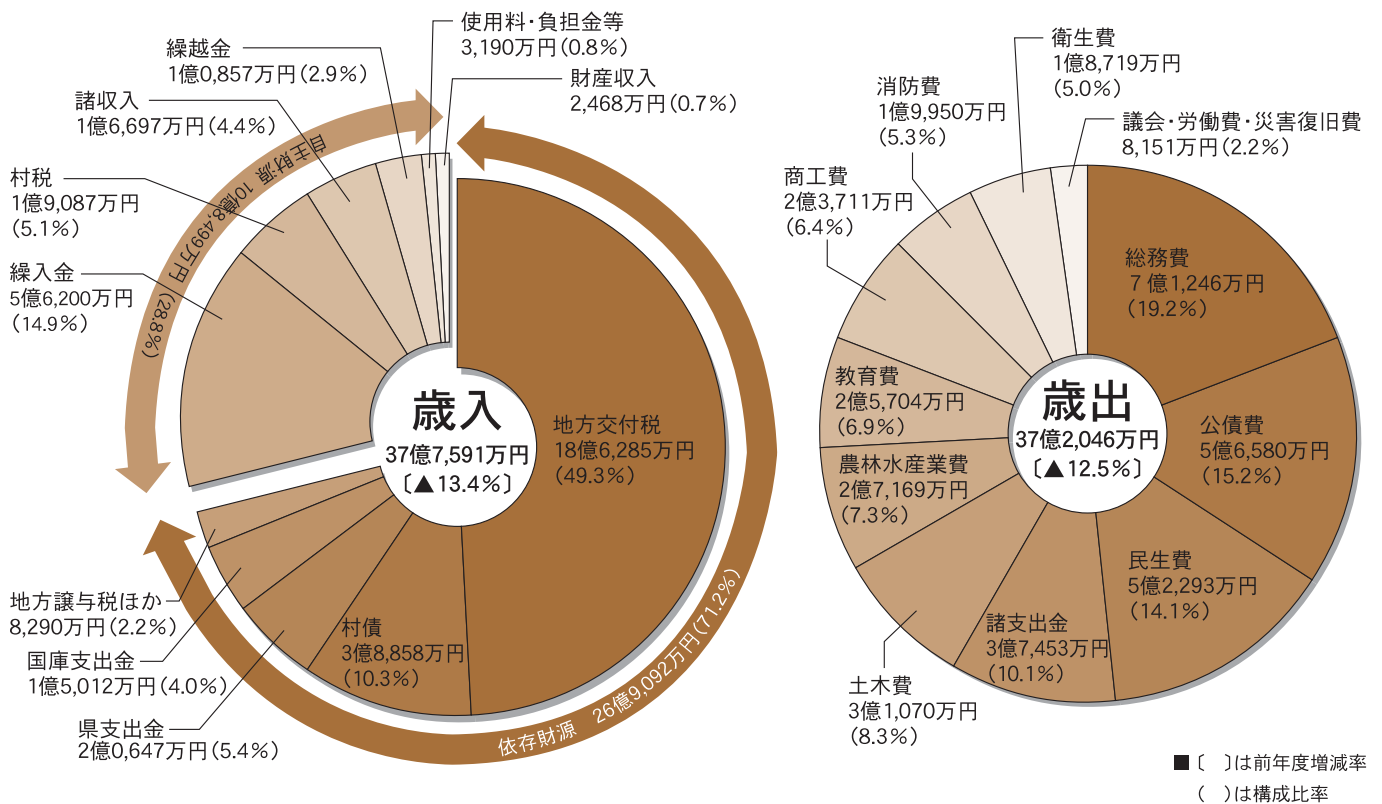


平成29年度決算

平成29年度の各会計の決算が、9月定例議会で認定されました。

一般会計の決算額が、歳入総額37億7,591万円、歳出総額37億2,046万円となり、歳入歳出差引額は5,545万円となりました。



歳入・歳出の状況

歳入では地方交付税が、18億6,285万円の前年度に対し4,913万円の減額となっており歳入額の49.3%を占めています。うち普通交付税は、16億2,740万円で6,015万円の減額となりました。普通交付税と普通交付税の振替分となっている臨時財政対策債とを合わせると前年度に対し、6,073万円の減額となっています。

歳出では、総務費が「地方創

生事業」として定住促進住宅を新たに建設し、各種工事なども行いましたが、食肉加工センター外構工事や循環拠点施設建設工事が終了したことにより3億6,682万円の減額となりました。

民生費については、幸寿苑の改修工事による繰出金の皆減により、7,340万円の減額となっています。

諸支出金については、基金に

おいて財政調整基金積立金の大幅減により、1億8,739万円の減額となりました。また、総額で5億5,900万円の取り崩しを行っているものの、財政調整基金へ3億6,500万円、減債基金へ100万円等それぞれ積立を行い、その他の特定目的基金の積立で、取り崩しを合わせると29年度末では、総額で17億7,851万円となり、1億8,747万円の減額となっています。